

## ◎ 2/14 の国内相場概況

**ポイント:** 高値警戒感から売りが優勢となり、国内株式相場は小幅反落。国内金利は小幅低下。外国為替相場は円が下落。

### 【株式相場】

国内株式相場は小幅反落。朝方は、前日の米国株式相場の上昇や外国為替相場の円安進行を受けて買いが先行した。ただしその後は、高値警戒感から利益確定売りが優勢となり、株式相場は小幅に下落して取引を終了した。

### 【債券相場】

国内金利は小幅低下。この日実施された国債買い入れオペの購入予定額が前回から据え置かれたほか、オペの結果も無難と受け止められたことで、債券買い(金利低下)が優勢となり、長期金利は低下して取引を終了した。

### 【外国為替相場】

外国為替相場は円が下落。ドル/円相場は、トランプ米政権が対中関税猶予の期限を60日延長することを検討しているとの報道を受けて、一時1ドル111円10銭台まで円が下落した。ただしその後は、利益確定のドル売りが入り、円は下落幅を縮小した。ユーロ/円相場は、米中貿易協議の進展期待を背景とした円売りが優勢となり、1ユーロ125円30銭台まで円安が進行した。

## ◎ 2/14 の海外相場概況

**ポイント:** 低調な米小売売上高の発表を受けて、米国株式相場は反落。米国金利は低下。外国為替相場はドルが下落。

### 【株式相場】

米国株式相場は反落。朝方は、この日発表された12月の米小売売上高が市場予想を大幅に下回り、米国景気の先行き不透明感が強まったことを受けて、売りが優勢となった。ただし、米中貿易協議への進展期待が引き続き相場を支え、株式相場は下落幅を縮小して取引を終了した。

### 【債券相場】

米国金利は低下。この日発表された米小売売上高が市場予想を大幅に下回ったことを受け、債券買い(金利低下)が優勢となった。また、米国株式相場が下落したことも債券の買い材料となった。

### 【外国為替相場】

外国為替相場はドルが下落。ドル/円相場は、市場予想を大幅に下回る米小売売上高の発表を受けて、ドル売り円買いが優勢となり、1ドル110円40銭台までドルが下落した。ユーロ/円相場は、この日発表された独10-12月期GDPや米国小売売上高の結果を受けて、世界経済の先行き不透明感が強まったことから、リスク回避のユーロ売り円買いが優勢となり、1ユーロ124円70銭台までユーロ安が進行した。

## ◎ マーケット情報

### 【主要株価指数】

指標	終値	前日比
日経平均株価	21,139.71	-4.77
TOPIX	1,589.81	+0.48
NYダウ(米国)	25,439.39	-103.88
DAX(独)	11,089.79	-77.43
FT100(英)	7,197.01	+6.17
ブラジルボベスバ指数	98,015.09	+2,172.69
ロシアRTS指数	1,156.31	-34.48
インドSENSEX	35,876.22	-157.89
上海総合指数	2,719.70	-1.37
シカゴ日経平均先物	20,960.00	-230.00

### 【債券】

指標	終値	前日比
日本10年国債利回り	-0.020	-0.010
米国10年国債利回り	2.65	-0.05
ドイツ10年国債利回り	0.10	-0.02
豪州10年国債利回り	2.15	-0.00
ブラジル10年国債利回り	8.80	-0.14
カナダ10年国債利回り	1.88	-0.06

### 【外国為替相場】

通貨	終値	前日比
ドル/円(東京)	111.07	-0.54
(NY)	110.47	
ユーロ/円(東京)	125.35	-0.22
(NY)	124.79	
豪ドル/円(東京)	79.18	-0.20
(NY)	78.49	
ユーロ/ドル(NY)	1.1296	+0.0035
ブラジルレアル/円(NY)	29.66	+0.13
カナダドル/円(NY)	83.09	-0.66
人民元/円(NY)	16.35	-0.04

### 【商品相場・REIT指数】

指標	終値	前日比
原油先物相場(WTI)	54.47	+0.57
金先物相場	1,309.80	-1.00
東証REIT指数	1,840.66	+1.12

### 【前日の経済指標等】

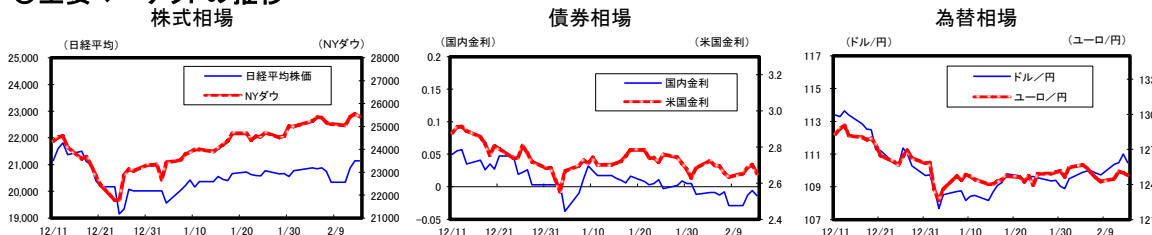
指標	予想	実績	前回
日 10-12月期GDP(前年同月比)	1.4%	1.4%	-2.6%
欧 10-12月期GDP(改定値・前年同月比)	1.2%	1.2%	1.2%
米 12月小売売上高	0.1%	-1.2%	0.1%
独 10-12月期GDP(前期比)	0.1%	0.0%	-0.2%

※前日比は、NY終値をベースに記載

### 【本日の材料・朝刊主要記事等】

- 中 1月消費者物価指数、1月卸売物価指数
- 米 1月鉱工業生産指数、2月NY連銀製造業景気指数

## ◎ 主要マーケットの推移



※本資料は各種データに基づき参考資料として作成しておりますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。ここに記載された意見等が事前の連絡なしに変更されることもあります。したがってこれらコメントに全面的に依存して市場性商品の取引導入を決定することはお勧めできません。また本資料は情報提供を目的とし、商品の売買勧誘や申し出を意図したものではありません。